会議録　（グループホームうみかわ　運営推進会議）

作成日　平成２９年　１１月３０日

期　日	平成２９年　１１月２７日（月）	時　間	午後 14 時 00 分～午後 15 時 15 分
場　所	グループホームうみかわ　会議室		
出席者（８名）	利用者・家族	０名（利用者）　２名（家族）	
	地域代表者	３名	
	市職員	１名	
	包括職員	１名	
	法人役員	０名	
	施設職員	１名	

会議要旨

議　題（テーマ）	①　入居者様の状況について
	②　前回、運営推進会議からの動きについて
	③　職員の質や現状等について
	④　意見交換
	⑤　その他
	①　について 介護度１の方、３名 介護度２の方、５名 介護度３の方、８名 介護度４の方、１名 介護度５の方、１名　（計 18 名）　　平均介護度　2.55 ◇事故報告　　（1 件）　朝食時に食べ物を詰めてしまっており、途中改善見られるが、念のため救急搬送にて病院を受診。そのまま入院となる。※市へ報告書提出 ◇インシデント（6 件）　（誤薬１件、離棟１件、転倒・落体４件） ※いずれも大きなケガや事故にはつながっていない。 ◇入居者様の様子について ・11/13　左脇の痛み症状がある方について、肋骨骨折の疑いの診断。 ※原因不明 ・11/13　脳梗塞にて入院された方１名 ・11/23　意識喪失者１名（血圧の関係） ②　について （１）　９月２９日　・西海小学校６年生の訪問 （２）　９月２９日　・あったカフェ開催　　・ （３）　１０月７日　・焼き肉パーティー（送別会） （４）　１０月１０日～２０日　・高田特別支援学校　白嶺分校　職場実習 （５）　１０月１７日・消火訓練の実施 （６）　１０月２０日・土砂災害想定避難訓練の実施 （７）　１０月２３日・内部研修の実施 （８）　１０月２７日・あったカフェ開催 （９）　１１月３日　・西海地区文化祭見物 (10)　１１月２４日・あったカフェ開催

	(11) １１月１９、２５日・内部研修の実施 (その他) ・誕生会　　・外出（外食、ドライブ、買い物） ・ボランティア様（音楽体操、介護補助） ・うみかわ便り（１０月号、１１月号）家族へ配布 ・１１月中にインフルエンザ予防接種の実施　(※希望者のみ) ・施設近隣に熊の出没報告あり、職員内で注意喚起を行っている。 ③ について ・福祉施設における事件や事故の報道が目立っている中、ご利用者様やご家族様にとっては不安要素になっていることと思います。要因の一端として職員の知識不足や技術不足、ストレス等があげられますが、当グループホームでの取り組みや、課題について説明している。 ④ 意見交換 (出席者)・離棟に関して、センサー音には気が付かなかったのですか？ (施設職員)・朝の時間帯に他の方の居室で対応していた際のケースですので、聞こえにくかったと思われます。また、その時間帯は人手が手薄なこともあり、施錠を補助的に使用していますが、たまたま訪問者があり、その後、施錠を忘れていたことも重なったケースです。 (出席者)・手薄というのは理由にならないと思いますので、ランプやセンサー等の検討もした方がいいと思います。今は色々な物があるようですしね。 (出席者)・この施設周辺は山や川も近いですし、離棟してしまうと見つかりにくいことが予想されます。いつもと違う音や気が付く何かがあればいいと思います。 (出席者)・玄関のセンサーで、入る時と出る時で音が違えばいいのですがね。 (出席者)・他の施設でも違ったタイプのセンサーを使用していますので、参考にしてみてもいいかと思います。 (施設職員)・本当に安全面については注意して対応していく必要があると思います。しかし、一方で生活の場という要素もあるので、あまり物々しい感じにはしたくないとの思いもありますので、他の施設の対応も参考にしながら、検討していきたいと思います。 (出席者)・その方個人への対応という視点も大切だと思いますので、少しいつもと違うな、と感じた際の対応なども併せて検討してほしいと思います。 (施設職員)・そうですね、２ユニットありますので、声を掛け合って対応する面もありますし、何か家事的な作業を行ってもらうことで、その間は作業に集中されていますので、そういった関わりを見守りの手薄への対策として行っているケースもあります。

	（出席者）・熊について、糸魚川市の安心メールでは町への出没報告も多いですし、気を付けなくてはなりませんね。 （出席者）・この地域では出没してもそれは当たり前というか、マンネリ化してあまり報告しないことの方が多いようです。糸魚川市の安心メールでよく、熊やイノシシの情報が来るのですが、この地区の情報がほとんどないのはそのせいだと思います。 （出席者）・暗くなるのも早くなっていますので、職員さんも帰りの際には気を付けなくてはいけませんよね。 （施設職員）・そうですね、職員内でも注意喚起をしていますので、意識はしています。 （出席者）・土砂災害の避難に関して、マニュアルは新たに作ったのですか？ （施設職員）・当施設は水防法の改正で、市町村地域防災計画に定められた土砂災害警戒区域に該当しており、避難確保計画の作成が義務付けられたため、概要に沿ってマニュアルを作成しています。今回の避難訓練はそのマニュアルに沿って実施したものです。 （出席者）・今回の西海地区の土砂災害においては避難勧告がでており、避難場所は公民館でしたが、スペース的にはキビシイものがありました。勧告という情報のため、自主判断ということもあり、避難しない方も多くいたようです。施設としても避難する判断が難しいですよね。 （施設職員）・そうですね、マニュアルでは避難準備・高齢者避難開始情報を基準としていますが、インターネットなどでも色々な情報が入手できる状況もありますので、総合的に判断して早めに対応できることが一番だと思います。今回は同法人の他施設へ避難する訓練を実施しましたが、災害の種類によっては、地域の避難場所へ避難するケースもあるでしょうし、当施設が避難場所になるケースもあるでしょうから、市や地域と連携を取りながら対応もしていかなくてはならないと思っています。 （出席者）・法人のグループホームなので、判断においては相談しながら決定することもできるでしょうしね。また、他の地域密着型の福祉施設との協力体制も検討しておいた方がいいとも思います。認知症の方において、一般の避難場所では不都合な面もあるでしょうから。 （施設職員）・そうですね。有事に備えてそういった連携面も視野に入れなければいけませんね。 （出席者）・西海地区の土砂災害の時のことですが、１７時過ぎには薄暗くなってきますので、被害が拡大することは予想されたので、早い段階で危険な地区の方については声を掛けて避難してもらいました。その後、交通規制が入りましたし、真っ暗で何も見えない状況ですので、その中で避難するとしたらパニックになると思いました。まして、施設の介助が必要な

	方の避難を行うとしたら、あんな暗く、大雨の中を避難するのはかなり困難だと思います。 （出席者）・全国的にいえますが、災害時への対応の傾向と意識という点ではだいぶ以前とは違ってきていますので、早めに判断して対応することが功を奏するという事もあると思います。慌てて対応するよりも、避難して何事もなければそれはそれでいいわけですし。 （施設職員）・マニュアルでも早めに職員を招集して対応することになっていますが、状況によっては施設職員だけでは対応が困難なことも予想されます。 同法人の職員や、場合によっては地域の方のお力をお借りすることになるケースもあるかとも思いますので、連携という点において、今後、 しっかりと形にしていく必要があると思います。 ※③の内容について （施設職員）・社会保障審議会の介護給付費分科会の検討内容において、医療連携や看取りに関しての要素が多く、グループホームの報酬基準に盛り込まれています。グループホームでもその点において今後、対応が求められてくることが予想されます。現状でも、健康面に不安を感じる方も多くなってきていますが、グループホーム内での対応には限界があることや、知識として不足している面もある事から、職員によっては負担に感じている方もいるようです。 （出席者）・医療の現場でも認知症の方への対応に苦労しているとの話を聞きます。それぞれの専門分野の知識の共有といった連携が取れればいいと思います。 （出席者）・糸魚川市内でも専門分野の方が集まって話す機会として、ケアカフェを定期的に開催していますので、そこで情報交換や連携の模索を行うきっかけとして参加されてもいいかと思います。 （施設職員）・本日はご参加ありがとうございました。これで、今回の運営推進会議を閉会いたします。次回は１月２９日（月）を予定ですので、よろしくお願いいたします。